

四万十町 議会だより

(題字は川口小学校6年生西森海音さん)

NO.76

2025年8月10日発行
高知県四万十町議会

(紹介記事は P.18)



6月定例会(会期6月4日～6月10日《7日間》)

P.2～P.3	補正予算審議 他
P.4～P.8	一般質問 防災・災害対応など…4人が質す
P.10～P.11	常任委員会報告
P.12	窪川高校でトークフォークダンス開催報告
P.13～P.15	聞き取り調査報告
P.16	四万十町模擬議会のご案内
P.17	キャッチボール(四万十手仕事市について)
P.18	ありやどうなっちゅうぜよ(海の保全事業について)

補正予算審議

理委託料

342万9000円

議員辞職

令和7年6月9日に田邊哲夫氏から辞職願が提出され、これを許可した。

特別養護老人ホームにおけるアスベストの除去や、保育所施設の老朽化への対応など、重要かつ緊急性の高い事業で歳入歳出総額1100万円が追加計上された。累計予算額は歳入歳出それぞれ1億9千万円となり、全会一致で可決した。

主な補正内容

- 特別養護老人ホーム四万十荘におけるアスベスト除去工事に係る特別養護老人ホーム四万十荘特別会計繰出金620万円
- 見付保育所倉庫の解体工事費127万1000円
- くぼかわ保育所の維持補修工事に係る設計監

人事案件

人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員 吉本江利氏の任期が、令和7年9月30日をもって満了することに伴い、同氏を人権擁護委員法第6条第3項の規定により「適任」と答申した。

条例

○四万十町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

参議院議員通常選挙が執行される年の定例的な法改正として、最近の物価変動等を踏まえた投票所経費等の基準額の改定並びに投票所及び開票所の事務を行うための設備の整備等に係る加算規定等を設けるため、国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律（昭和25年法律第179号）が改正され、本年6月4日から施行されている。

同法第14条第1項において、選挙長、投票管理

者、開票管理者、投票立会人、開票立会人及び選挙立会人が職務のために要する1日あたりの費用の額が規定されているが、今回の法改正によりこの額が引き上げられたので、同法に定める額と同額を規定している四万十町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（平成18年四万十町条例第35号）について、改正を行うもの。

【施行期日】

公布の日

○四万十町議会議員及び四万十町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について

参議院議員通常選挙が執行される年の定例的な



法改正として、最近の物価変動等を踏まえ、国会議員の選挙運動に関し、選挙運動用ポスターの作成等に要する経費に係る公費負担の限度額を引き上げるため、公職選挙法施行令（昭和25年政令第89号）が改正され、本年6月4日から施行されている。

同令第109条の8は選挙運動用ビラの作成について、同令第110条の4は選挙運動用ポスターの作成について、それぞれ公費負担の単価等について規定されているが、今回の改正によりこの額が引き上げられたので、同令に定める額に準じた金額を規定している四万十町議会議員及び四万十町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例（令和3年四万十町条例第24号）について、改正を行うもの。

【施行期日】

公布の日

契約案件

小型動力ポンプ付積載車の
売買契約の締結について

■ 契約件名
令和7年度四万十消防
団小型動力ポンプ付積
載車整備事業

■ 契約金額
1460万5800円

■ 契約の相手方

高知市春野町仁ノ15
49番地
株式会社中村防災サ
ビス

代表取締役 中村彰宏

■ 納入場所

四万十町古市町地内

四万十町指定ごみ袋の売
買契約の締結について

■ 契約件名

令和7年度四万十町指
定ごみ袋購入事業

■ 契約金額

1220万375円

■ 契約の相手方

高知市高須新町4丁目
1-43
株式会社三井高知営業
所

所長 松木一夫

■ 納入場所

四万十町秋丸地内

■ 納期

議決日の翌日から令和
8年1月21日まで

塵芥収集車の売買契約の
締結について

■ 契約件名

令和7年度四万十町塵
芥収集車購入事業

■ 契約金額

532万4000円

■ 契約の相手方

高知市大津甲274-
1
高知日野自動車株式会
社

代表取締役 濱田英男

■ 納入場所

四万十町秋丸地内

■ 納期

議決日の翌日から令和
8年3月17日まで



請願陳情

陳情 消費税減税、イン
ボイス制度廃止を求める
意見書採択のお願い

賛成多数で採択

※賛否表は4ページ参照

発 委

消費税減税、インボイス
制度廃止でくらしと営業
を守る意見書(案)

■ 提出者

総務常任委員長

村井眞菜

食料品、お米、ガソリ
ン、電気代など、厳しい

物価高騰が続く、町民生
活は窮地に追い込まれて

いる。

くらしと営業、地域経
済を守るうえで有効な消
費税減税と、中小規模
事業者の経営を圧迫して

いるインボイス制度の廃
止を政府に求める。

賛成多数により可決

※賛否表は4ページ参照



意思表明

○賛否の分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案	武田秀義	山本大輔	林健三	村井真菜	佐竹将典	中野正延	伴ノ内珠喜	中屋康	水間淳一	下元真之	味元和義	橋本章央	堀本伸一	緒方正綱	
陳情第7-6号 消費税減税、インボイス制度廃止を求める意見書採択のお願い	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成多数採択
発委第2号 消費税減税、インボイス制度廃止でくらしと営業を守る意見書	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成多数原案可決

○全会一致の議案

【6月定例】 議 案	結 果
諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
議案第59号 小型動力ポンプ付積載車の売買契約の締結について	可決
議案第60号 四万十町指定ごみ袋の売買契約の締結について	可決
議案第61号 令和7年度四万十町一般会計補正予算(第1号)	可決
議案第62号 令和7年度四万十町特別養護老人ホーム四万十荘特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第63号 塵芥収集車の売買契約の締結について	可決
議案第64号 四万十町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第65号 四万十町議会議員及び四万十町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	可決

一般質問 執行部を質す



中屋 康 議員……………P.5

- 行政区長を兼任集落支援員に
- 家具転倒防止金具設置の支援効果は



下元 真之 議員……………P.6

- 数年後の財政状況への考え方は
- 土砂を出していく場所の確保は



堀本 伸一 議員……………P.7

- 条例制定の進捗状況、難航の要因は(人権条例について)



武田 秀義 議員……………P.8

- 保育所と図書館を融合させた環境づくりを検討すべきではないか

一般質問は議員自身の考え方をもち、持ち時間一人60分の制限時間の中で、町長や教育長の方針・考え方を問うもの。6月議会では4人の議員が質問。議会だよりでは質問と答弁を要約し掲載する。



中屋 康 議員

行政区長を兼任集落支援員に 必要とする集落での研究余地はある

／企画課長

中屋 高齢化により近年集落維持活動が衰退している。現在の「集落支援員」の配置状況と未配置集落の分析状況を示せ。

また、今後において、行政区長を兼任集落支援員として配置する考えはないか。

富田企画課長 総務省が平成20年から開始した制度で、現在、専任集落支援員を3カ所の集落活動センターを構成している地区に各1人配置して支援活動している。

未配置の集落での希望調査等は実施していないが、過疎化の進む中において意向調査を行い、人材不足に対応する観点からも行政区長を兼任とする在り方も研究していく。



集落での清掃活動

中屋 令和6年度に新たな地方創生交付金が創設され、集落活動支援事業に利用しやすい条件と思うが、充当していく動きはあるか。

富田企画課長 本年度計画している交付金の利用はハード事業整備にとどまっている。

集落支援への利用については全国の事例などを見ながら研究していく。

防災支援

家具転倒防止金具設置の支援効果は 10年間の成果としては十分ではない

／危機管理課長

中屋 平成26年から地震災害予防とする家具転倒防止等の補助事業が実施されているが、利用状況は。

給する補助制度を新たに
加え普及を促進していく。

中屋 制度周知のチラシ
が配布されたが、分
づらいつの声や、申請に

法は今後なお改善していく。納税証明書は県の補助金を利用している性質上必要とされているが、簡素化に向けて関係部署と協議している。

味元危機管理課長 当初の補助要綱では、自ら設置できない方のために、自主防災組織が代行し設置した場合に、一律5000円の補助金を支給する制度で、平成26年度から令和6年度までの利用件数は276件で10年間の成果としては十分とはいえない。

今年度からは、金具等の購入者に対して2万5000円を上限として支

味元危機管理課長 お
知らせの方



家具転倒防止金具の取り付け講習

公共施設等総合管理計画

数年後の財政状況への考え方は 施設の複合化や精査を加えた 判断が必要

判断が必要／副町長



下元 真之 議員

与カットも考えなくてはならないという状況について考えは。

つまりとした精査を加えたうえでの判断が必要になると考えている。

下元 人口減少に比例して公共施設の削減目標（5000㎡削減）を掲げた管理計画が進んでいない状況で、商工会跡地へのコワーキングスペースや松葉川地域への若者用農家住宅が整備され、2000㎡の文化的施設も計画されていた。

確かに令和7年度の当初予算でも財政調整基金を6億5000万円取り崩して予算編成をしております、その要因の一つは人件費の高騰となっている。財政が健全化に向かうためには、公共施設の複合化や新しい建物にはし

た。

確かに令和7年度の当初予算でも財政調整基金を6億5000万円取り崩して予算編成をしております、その要因の一つは人件費の高騰となっている。財政が健全化に向かうためには、公共施設の複合化や新しい建物にはし

た。

確かに令和7年度の当初予算でも財政調整基金を6億5000万円取り崩して予算編成をしております、その要因の一つは人件費の高騰となっている。財政が健全化に向かうためには、公共施設の複合化や新しい建物にはし

た。

確かに令和7年度の当初予算でも財政調整基金を6億5000万円取り崩して予算編成をしております、その要因の一つは人件費の高騰となっている。財政が健全化に向かうためには、公共施設の複合化や新しい建物にはし

た。

確かに令和7年度の当初予算でも財政調整基金を6億5000万円取り崩して予算編成をしております、その要因の一つは人件費の高騰となっている。財政が健全化に向かうためには、公共施設の複合化や新しい建物にはし

た。

確かに令和7年度の当初予算でも財政調整基金を6億5000万円取り崩して予算編成をしております、その要因の一つは人件費の高騰となっている。財政が健全化に向かうためには、公共施設の複合化や新しい建物にはし

た。

確かに令和7年度の当初予算でも財政調整基金を6億5000万円取り崩して予算編成をしております、その要因の一つは人件費の高騰となっている。財政が健全化に向かうためには、公共施設の複合化や新しい建物にはし

た。

確かに令和7年度の当初予算でも財政調整基金を6億5000万円取り崩して予算編成をしております、その要因の一つは人件費の高騰となっている。財政が健全化に向かうためには、公共施設の複合化や新しい建物にはし

た。

確かに令和7年度の当初予算でも財政調整基金を6億5000万円取り崩して予算編成をしております、その要因の一つは人件費の高騰となっている。財政が健全化に向かうためには、公共施設の複合化や新しい建物にはし

政的な問題から職員の給

土砂を出していく場所の確保は

近隣の有料残土場への設計／建設課長

災害対応

下元 大地震やゲリラ豪雨による土砂災害発生時の対応については手順ができていくとの説明だが、急峻で狭あいな場所が多く、同時多発的な土砂災害発生も考えられる。

道路を塞ぐ大きな災害が発生した場合に土砂を一気に出していく場所が確保できているか。



が、現在は近隣の有料残土場への設計となっている。

下元建設課長 災害発生の初期の段階では、災害廃棄物を余裕地に移動させるなど割り切って考えることが求められる。あちこちで災害が起これば、とりあえず道幅4mを確保できる施工方法で行っていく認識だ。

残土処理場所は、以前は建設業者が所有する残土処理場へ搬入していた

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

下元 当町は64.2kmの広い面積がありながら、町内に残土場を準備していないが、自前で整備しておく必要性はないか。

下元建設課長 2年ほど前から候補地を探したが、立米数に合った適地がないということで断念した

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。

経緯がある。



堀本 伸一 議員

条例制定の進捗状況、難航の要因は 啓発活動の違いや運動団体の関与に疑念

／副町長

堀本 人権条例策定の取り組みについての経緯と、その後の進捗状況はどうあるのか詳しく説明を求めます。

森副町長 令和2年11月に四万十町人権条例検討委員会を立ち上げて以来、さまざまな行政手続きに基づき協議を重ね素案づくりを行ってきた。内容は自主条例及び、全ての

人権を網羅した抱括条例となっている。また、人権尊重のための努力目標として、町の責務、町民・団体の役割を位置づけているが、3地域で開催した公聴会や意見公募では人権教育研究協議会窪川支部より素案に対し反対意見が数多く寄せられたところである。

堀本 この条例は町民にとってさまざまな問題をと

網羅した人権擁護の重要な条例であると認識している。条例制定の最高機関は町であるのに、人権教育研究協議会の合意が進まないために制定に難航している。人権教育研究協議会に任せて合意を待つような状態ではないのか。もっと主導的に進められないか。

森副町長 これまで議論を重ねる中で窪川支部は、2002年に同和行政の終結宣言が出されていることや、啓発活動の手法が若干違うこと、また、運動団体が啓発活動に関与するのではないかといった疑念があることは事実であり、提案者の立場としては、難しい審議内容ではあるが、今後さらに理解を求め3支部が胸襟を開き一定の醸成ができるように努力していく

考えである。



保育行政

保育所と図書館を融合させた環境づくりを検討
すべきではないか
整備方法・手法について速やかに内部で協議を進めていく

／教育長



武田 秀義 議員

武田 見付保育所の閉所について内容は。

今西生涯学習課長 見付

保育所は建物全体の老朽化や建物が土砂災害警戒区域内にある課題、また、現状として窪川地域全体で利用定員に余裕があることから閉所の判断に至った。

4月に幼児棟の屋根の一部が剥落する事案を受

け、町内全ての保育所の緊急点検を指示した。

武田 閉所後、多くの園児はくぼかわ保育所に通園すると予想するが、同施設も築46年と老朽化は進んでいる。環境整備も含め受け入れへの計画はあるか。

今西生涯学習課長 通園

に区域設定はないので、くぼかわ保育所の他、東又、川口、松葉川といったところが代替施設の候補となる。くぼかわ保育所は、利用定員を最大まで受け入れるための必要な補修工事の設計を行い、

関連予算を計上し速やかに工事に着手する計画。

武田 改修費用など、現時点での想定は。

今西生涯学習課長 現時点では改修費用の総額は把握していないが、通常の維持管理の中で、改修が必要と思われる幾つかはリストアップしている。

武田 くぼかわ保育所は維持しても老朽化は進む。少子化も進む将来を踏まえ、進んでいない図書館と保育所を融合させた、新しい施設づくりを検討できないか。

今西生涯学習課長 利用

者の利便性や施設の性質、職員の配置などを踏まえ、合築という方向で考えるのであれば、子育て支援や家庭支援施設との合築が適当と考える。新施設の方向性については関係者との意見を踏まえながら適切な時期に示したいと考えている。

山脇教育長 公共施設の

マネジメントの観点から、計画的、効率的、効果的な整備の方法・手法について、速やかに内部で協議を進めていく。





令和7年3月から～令和7年6月定例会まで 各議員の出席状況

○：出席 □：公務 欠：欠席 代表：議会を代表して出席 /：参加要請なし

月 日	用務の概要	緒方 正綱	下元 真之	武田 秀義	山本 大輔	林 健三	村井 眞業	佐竹 将典	中野 正延	田邊 哲夫	伴ノ内 珠喜	中屋 淳一	水間 和義	橋本 章央	堀本 伸一
3月22日	昭和小学校閉校記念式典	○	○	/	/	○	/	/	○	欠	/	○	/	○	○
3月23日	韓国高敞郡来町歓迎会	○	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○	/	/
3月26日	意見聞き取り調査（立西地区）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○
3月27日	広報・広聴常任委員会	/	○	○	○	/	○	○	○	/	○	○	/	/	/
3月29日	松葉川コミュニティセンター竣工式・落成式	○	/	/	/	/	○	/	/	/	/	/	/	/	/
4月4日	広報・広聴常任委員会	/	○	○	○	/	○	○	○	/	○	○	/	/	/
4月8日	窪川地区慰霊祭（仁井田地区）	/	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
4月9日	広報・広聴常任委員会	/	○	○	○	/	○	○	○	/	○	○	/	/	/
4月10日	窪川地区慰霊祭（東又地区）	/	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
4月14日	広報・広聴常任委員会	/	○	○	○	/	○	欠	○	/	○	○	/	/	/
4月16日	産業建設常任委員会	○	/	○	○	○	/	/	/	/	○	○	○	/	/
4月17日	総務常任委員会	○	/	/	/	/	○	○	/	○	/	○	○	○	○
4月22日	教育民生常任委員会	/	○	/	/	○	/	/	○	欠	/	○	/	○	○
4月24日	議会改革調査特別委員会	/	○	○	○	/	○	○	/	/	○	○	欠	/	/
5月7日	議会運営委員会	○	○	○	○	/	○	/	/	/	○	○	/	○	○
5月9日	令和7年第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○
5月9日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○
5月9日	教育民生常任委員会	/	○	/	/	○	/	/	○	欠	/	○	/	○	○
5月19日	議会改革調査特別委員会	/	○	○	○	/	○	欠	/	/	/	○	○	/	/
5月19日	総務常任委員会	○	/	/	/	/	○	欠	欠	欠	/	○	○	○	○
5月21日	産業建設常任委員会	○	/	○	○	○	/	/	/	/	○	○	○	/	/
5月27日 ～28日	令和7年度町村議会議長・副議長研修会 県選出国会議員との意見交換会	○	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
6月2日	議会運営委員会	○	○	○	○	/	○	/	/	/	○	○	/	○	○
6月4日	令和7年第2回定例会（開会）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
6月4日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
6月4日	教育民生常任委員会	/	○	/	/	○	/	/	○	欠	/	○	/	○	○
6月6日	総務常任委員会	○	/	/	/	/	○	○	/	欠	/	○	○	○	○
6月6日	産業建設常任委員会	○	/	○	○	○	/	/	/	/	○	○	○	/	/
6月10日	令和7年第2回定例会（第7日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
6月10日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	欠	○	/	○	○	○	○	○

*紙面の都合上、議長のみの出席用務（16件）は省略しています。



常任委員会報告

総務常任委員会

【4月17日開催】

① 四万十町公共施設等総合管理計画について

② 職員の働き方について

③ 災害時対策として議会BCPについて

① 公共施設別のカルテをつくり終えて、行動計画をつくる段階にあり、

全体施設の延べ床面積18%削減に向け、どういった施設を減らすか、優先順位をつけていくため

「四万十町公共施設等マネジメント推進委員会」を立ち上げ、劣化度・利用状況・地域の状況等を把握し個別具体的な方向性を示すとされている。

インフラである施設、橋、道路、トンネルについては国の支援があるうちは、なるべく現状を維持していくことを執行部と共有し、今後も定期的に進捗調査を継続していくこととした。

② 職員の時間外勤務・会計年度任用職員の状況・職員の職場環境・各振興局の職員配置の体制・職員の育休、産休、介護休・退職者増加傾向についてそれぞれ現況説明を受け議論。男性育休取得についての意識付けの醸成を図ること、若い職員の退職者を減らすためにやりがいを感じられる職場づくり、早期退職者削減のため介護休暇取得の周知の必要性や、振興局の職員については災害時の対応を含め現状維持すべきなど、働き方についての全般的な議論を行った。

③ 議会BCP全員協議会提出に向け最終チェック

① 各種財政指標を県内市町村との比較から本町の状況を把握し、今後の人口減、少子高齢化を見据え厳しく事業の精査を行い、各事業等の統合やスリム化を図っていく必要があるとした。

② 路線バス、コミュニティバスについて議論を重ねた。近い将来乗務員不足が懸念され、数年後には既存路線の維持が困難となる可能性があるため、四万十町地域公共交通活性化協議会を軸として議論を進め、国や他市町村の動向を注視し、町の公共交通網の維持に適した制度および仕組みを引き続き研究する必要があるとした。

③ 6月議会中の全員協議会に提出し、採択となった。

③ 3月定例会に上程され、委員会付託された「第3期四万十町こども・子育て支援事業計画の策定」について審査を行い、本会議で報告採択をした。

また、7年度の委員会の主要調査項目を左記のとおりとした。

一、特別養護老人ホーム施設の将来的な課題について

二、社会福祉協議会施設の改善策について

三、十和分館図書館、窪川図書館の整備に関すること

【4月22日開催】

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

【5月19日開催】

① 第二次四万十町中期財政計画の現況調査、研究

② 公共交通の現状と将来構想

③ 議会BCP全員協議会提出に向け最終チェック

① 各種財政指標を県内市町村との比較から本町の状況を把握し、今後の人口減、少子高齢化を見据え厳しく事業の精査を行い、各事業等の統合やスリム化を図っていく必要があるとした。

② 路線バス、コミュニティバスについて議論を重ねた。近い将来乗務員不足が懸念され、数年後には既存路線の維持が困難となる可能性があるため、四万十町地域公共交通活性化協議会を軸として議論を進め、国や他市町村の動向を注視し、町の公共交通網の維持に適した制度および仕組みを引き続き研究する必要があるとした。

③ 6月議会中の全員協議会に提出し、採択となった。

③ 3月定例会に上程され、委員会付託された「第3期四万十町こども・子育て支援事業計画の策定」について審査を行い、本会議で報告採択をした。

また、7年度の委員会の主要調査項目を左記のとおりとした。

一、特別養護老人ホーム施設の将来的な課題について

二、社会福祉協議会施設の改善策について

三、十和分館図書館、窪川図書館の整備に関すること

【4月22日開催】

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。



教育民生常任委員会

【3月10日開催】

3月定例会に上程され、委員会付託された「第3期四万十町こども・子育て支援事業計画の策定」について審査を行い、本会議で報告採択をした。

また、7年度の委員会の主要調査項目を左記のとおりとした。

一、特別養護老人ホーム施設の将来的な課題について

二、社会福祉協議会施設の改善策について

三、十和分館図書館、窪川図書館の整備に関すること

【4月22日開催】

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

令和6年12月4日付で当委員会より町長宛てに提言した「四万十町社会福祉協議会の公共施設への移転について」を議題として執行部の考えを聞いた。

いた。提言した移転対象とする「農村環境改善センター」について、現状での執行部の検討結果は、一、建物は昭和53年に国の農村総合整備モデル事業として補助金活用して建設され、耐用年数が50年（令和10年12月満了）とされている。

二、平成28年に会議室を事務所に用途変更しており、現状で再度の用途替えは困難である。

三、教育センターを本庁舎に移転した際、まちづくり交付金を利用している。

これら制約事項を勘案して、改善センター償却期間満了となる令和10年12月までは移転検討を見送るとの結論であった。



【5月9日開催】

特別養護老人ホーム事業経営戦略について、事務長、施設長から取り組み状況を聴取した。

窪川荘（築47年）四万十荘（築39年）と共に改修、改築が必要であり、令和6年度に実施した

「施設改修、改築基本調査」を元に令和7年度中に総合的な整備や時期を明確にしていくとの報告を受けた。

■産業建設常任委員会

①一次産業を活性化させる取り組み

②商業・観光業を充実させる取り組み

この2つを柱としている。

【3月6日開催】

①志和地区の町道の陳情請願の精査

②観光協会、所管課との意見交換

以上2つをテーマとした。

①については、現地視察をし、建設課からの意見聴取や町道認定基準の確認等を実施し、継続審査とした。

②については、観光を通じた交流人口の拡大、商業・観光業の発展を目的に、観光協会、担当課双方との意見交換を行った。結論としては、今後はお互いがさらに向き合い、連携をより図ること

で観光協会としての役割、

存在意義を示してもらうことを期待する。

【4月16日開催】

①散骨条例について

②農業委員会との意見交換

以上2つをテーマとした。

①については、新聞報道されたことで、住民からの反響もあり、散骨の今後について環境水道課との協議を行った。現在のところ、条例制定までは行わなくとも、ある一定の啓発周知を依頼した。

②については、農業委員会と、増える一方の有休農地、次世代問題、人手不足等の課題について協議を行った。簡単に解決できる問題が少なく、さまざまな分野がまとまり、諸問題に取り組んでいく必要があることを共有した。

【5月21日開催】

①農林水産課の所管事務

調査

②松葉川温泉の現地視察

以上2つをテーマとした。

①については、本町の核である一次産業について、所管課としてもさまざまな施策を設け、支援していこうという姿勢を評価するも、その施策を

対象者にいかに周知し、どう使ってもらうかがテーマであり、さまざまな事業を受けるための事務的な作業の問題について委員から指摘もあった。物価高騰の中、個人で農地を守り、一次産業を支えていた

だっている方々をどう支援していくのか、先進地視察を含め、しっかりと対策していくことを委員会でも共有し、今後さらに協議していく。



松葉川温泉の現地視察

②については、この4月以降、指定管理者が代わり、新たな施設、サービス内容について、ヒアリングを行った。単月で前年比10%超え、その日も予約で満室ということ、明るい兆しが見えている。また、指定管理者からは職員寮の整備という要望も受け、所管委員会として今後においてなお精査をしていく。

窪川高校で トークフォークダンス開催

6月17日、窪川高校において「トークフォークダンス」が開催されました。これは、地域で暮らし働くさまざまな立場の大人と高校生が「働き方」や「生き方」について語り合うことで、生徒自身が自らの将来や価値観についてより深く考えるきっかけとすることを目的としています。

当日は、窪川高校OBをはじめ、地域の方や地元企業、高校とゆかりのある方など、幅広い年代・職種の参加者に加え、四万十町議会からも7人の議員が参加しました。議員たちは高校生と一対一で向き合い、それぞれの人生経験や議会活動について率直に語り合いました。

生徒たちからは、「いろんな大人の考えを聞いて、正解が一つではないことが分かった」「10年後について考えることで、今を見直すきっかけになった」「自分の話を真剣に聞いてくれる人があることに安心した」といった感想が聞かれ、対話の意義の大きさがうかがえました。

町議会では、こうした地域の若者との交流を大切にするともに、若い世代が地域に関心を持ち、将来に希望を持てる環境づくりに努めてまいります。

※トークフォークダンスとは
立場の異なる参加者がフォークダンスのように、一対一で話をする対話形式。

当日印象に残ったトークテーマ (高校生アンケート)

- ①好きなことを仕事にするか
- ②10年後の自分（未来の話）
- ③後悔していること
- ④初恋
- ⑤憧れの人／尊敬する人
- ⑥高校生活や進路について
- ⑦その他（挑戦したいことなど）





地域聞き取り調査報告

四万十町議会では、議会基本条例で定められている議会報告会を平成27年度まで毎年実施していましたが、年々報告会への参加者が減少していき、その目的である町民との意見交換が十分に行えないと判断しました。

現在は、議会報告会より多くの町民の皆さまの声を直接うかがう新しい取り組みとして、議員が地域を回り「地域聞き取り調査」の場を設け、町民の皆さまの声を聞かせていただくとともに、意見交換を行っています。

町民の皆さまからいただいたご意見は各常任委員会等で精査・研究し、執行部との意見交換や政策提言等に役立てています。聞き取り調査時にいただいたご意見と執行部からの回答について抜粋して掲載します。

地域聞き取り調査報告

窪川地域

◆集落維持

Q 集落担当職員がいると思うが、誰なのか分からないので地域の集まりに出てきてほしい。行政とのつながりを持つておきたい。

A 区長には、春の区長会時に集落担当職員をお知らせしている。地域で集まる際などに、必要に応じて情報をいただければ、参加するよう集落担当職員に呼びかける。

Q 森木が町道にかぶさつてきているが伐採などの対応はできないか。

A 区長より要望があり現地確認済み。

Q イノシシなど鳥獣の処分場を考えてほしい。

A 狩猟者の高齢化等により捕獲後の埋却が負担になっている。町内の対策協議会でも意見があり、処理施設の整備について検討する。

Q 国や町の補助を受けた養豚施設の排水施設がどうなっているか知りたい。

A ラグーン槽（貯留槽）に酸素を送り込み微生物の働きによって有機物を分解する生物処理法で、飼養頭数1万頭までの処理能力があるものを設置しており、現在の飼養頭数の1.5倍までの処理能力がある。水質検査を年1回行い、基準値を超えるような数値は確認されていない。排水の色までは処理できず茶色になるが、水質上問題はない。

Q 急激に雨が降ると、道路から家に雨水が入ってきて困る。

A 生活環境整備事業の補助金で側溝整備は可能。（補助限度額100万円、補助率1/2以内）

Q 舗装した後に白線を入れてほしい。狭い道だが近道としてスピードを出して走る車が多いため。

A 白線設置の基準は、片側2車線以上または、道路幅が6m以上となっており対象外となる。

◆子育て支援

Q 小児科が町内になく幼い子どもがいるため、急な時の対応は心配だった。東又地域の病院もなくなり不安だし不便。子育て世代には不安があるのでは。

A 町全体の課題であるが、①妊婦・出産関係の補助

内容。②出産後の対応メニュー。③小児科がなくなった四万十町で小児科への通院に対する検討内容。

A ①②妊婦・産婦・乳児健診受診費産後ケア妊婦通院費助成不妊治療費助成新生児聴覚検査受診費出産・子育て応援ギフト

ト【出生時、転入時に配布している子育てまめ知識（冊子）に詳細あり】

③令和6年4月より産婦人科・小児科オンライン事業の開始

◆社会福祉

Q デイサービスの利用について、低所得者向けの設定も考えてもらいたい。

A デイサービスの利用料は、介護度や負担割合（1〜3割）、事業所によって異なり、介護保険適用の基本単価、

各種加算及び介護保険適用外の食費等の合計で決まる。

詳細については、担当ケアマネジャーや利用希望の事業所に確認が必要。

Q 介護施設について、窪川荘、四万十荘の改築を望む。仁井田の休業施設を改修するなり策を講じてもらいたい。

A 老朽化による施設の改修は必須。ただし、居室の構造を変更する場合は個室への変更が必要になる。個室となった場合、月額利用料は現行の多床室と比べて高額になることも課題。

新築では個室が原則であり、1人当たりの面積規模は倍増する。個室介護では介護人員も現在の1.2倍は必要になるため人員不足の場合、利用定員の削減も必要となる。現在の施設での運営をできる限り継続する方針。

仁井田の施設については、住宅型有料老人ホー



ムとして建設された民間施設であり、設備が特別養護老人ホームの運営基準に適合しているかは未確認。補助金等を利用して建設している場合は、転売、賃借等が不可能なことが多く現実的でないの相談等はしていない。

◆防災・交通安全

Q 東阿には街灯が多い場所が多い。特に冬場の下校時など子どもが危ないのではないかと歩道と車道が別れていない場所も多いので、農作業などが車を路側帯に止めている時は子どもが危険。

A 四万十町学校安全対策連絡協議会において、年1回現地調査を行い協議しているもので、要望があれば学校などに申し出ていただきたい。

Q 防災スピーカーの音量が低く聞こえない。

A 河川・海岸を監視している12チャンネルで同じ放送をしている。

◆公共交通

Q 路線バスを週に2、3回は利用したいが、早朝の便で出て行ってもゆつくりできる場所がない。須崎市の「ふれあい場所」のようなものを四万十町でも整備できないか。

A 休憩場所について公共交通だけでは一体的に考える必要がある。バスの便数については利用状況も踏まえ、現状できる限りの便数を運行している。便数を増やす場合は、乗務員や車両の確保も考えなければならぬが、各路線の利用状況なども検討の一因となるため積極的に利用していただきたい。

◆その他の意見

○病院に行く方法が限ら

れている。バス停が遠く将来が不安。

○ゴミ出し集積所が古くなったりクラス対策を強いられているが、修理の予算措置をしてほしい。

大正地域

◆集落維持

Q 狩猟をしている。ジビエに力を入れてほしい。

A 現在、有害鳥獣対策の取り組み支援を行っており、ジビエ関係については今後の検討課題。

Q 空き家対策を早急に。

A 四万十町の空き家対策については、にぎわい創出課で中間管理住宅、建設課で空き家活用や老朽住宅除却事業を行っている。

◆公共施設

Q 公共施設が多いが整理をすべきではないか。(維持に税金が掛かっている)

A 整備された施設をいかに管理していくかという役割を担った、公共施設等総合管理計画を策定しており、公共施設等マネジメント委員会、同作業部会において将来的な方向性を協議し取り組んでいる。

個々の施設についての廃止・解体や譲渡など、財政負担の抑制を図りつつ利用状況や地域住民のご意見等を把握しながら計画的に推進していく。

Q 大正大奈路の投票所やイベントを学校でやっているが、上り下りが大変なので大奈路保育所にしてほしい。

A 地域の皆さまの声を聞き検討する。

Q 大正駅にWiFiを整備してほしい。

A 現時点では考えていない。

Q クリーンセンター銀河は産業廃棄物や農業で出たゴミ資材などを引き取ってくれない。農業の町として受け入れをしてほしい。

A クリーンセンター銀河では産業廃棄物の処理はできない。議会としては、環境水道課、農林水産課で銀河での制約またJ Aでの取り組みについて広く広報するよう要請した。

◆社会福祉

Q 大正診療所について、地域の医療機関なので地域医療サービスや時間外や緊急時の対応を考えてほしい。

A 時間外の対応については、深夜0時(翌朝8時30分までのC

PA(心肺停止)以外の外来、救急の受け入れをお断りしている。

深夜以外は軽傷を含め、急患等の対応は行っている。事前に電話でお問い合わせしてほしい。

Q 身体が不自由なため介護タクシーがほしい。

A 町内には車いす対応の車両を所有するタクシース会社がある。福祉タクシース・バス利用券を使用できる。

また、高齢者助け合いサービス事業において、十和地域を中心に、生活支援と一体的に実施する移動支援を行っている。

今後、個別のニーズにより、必要な支援を組み立てるので、担当ケアマネジャーや地域包括支援センターに相談していただきたい。

◆教育

Q 移動図書館を利用したいが、来る場

所が遠くて行けない。

A 一定の利用者数を確保するため、放課後子ども教室や健康サロン等の開催場所を基本としている。また、その他の場所であっても地域からの要望があり、かつ、距離や移動時間などが調整できれば巡回場所の変更も行う予定。

Q 保育所と小学校などのスクールバスの送り迎えと一緒に利用できないか。

A 保育所や保護者との調整、幼児乗車の対応車配置などの人的対応やルールづくりが必要となる。3歳以下の幼児は対応できないと考える。

Q 十和から通う生徒の通学の便を考えればどうか。(スクールバスなど)

A スクールバスによる送迎の対象者は統合前の指定校に通学できない児童生徒となっている。保護者の意向によって指定校以外の学校への就学を認めており、その場合、送迎は保護者の責任において行っていたことが要件となる。

校区外就学で指定校以外の学校に通学している児童生徒は約50人おり、公平な取り扱いのためには、一部の児童生徒に対応すべきではないのと考えて。

ただし、運行中のスクールバスへの便乗は認められている。

Q 統合についてのスピードが遅い。地域も大切だが子どもの事を1番に。

A 保護者の同意と地域の理解を得て進めるという方針を持っている。現在の適正配置計画も本町の実情を踏まえ、子どもの教育環境を考え

て策定したもの。今後、適正配置を進めるにあたって、これまでの方針を変更する予定はない。

◆公共交通

Q 現状は路線バスが入っているが、コミュニティバスに変更になっても週に1回しか来ないと不便だと思う。

A 利用状況の分析により、利用数が少ない路線バスやその経路についてはコミュニティバスに置き換えをしている。週1回で曜日が限定されるため、週に1回以上利用される方やさまざまな用事で利用する曜日が変わる方については不便をおかけしているが、利用者すべての方の需要に応えることは難しい。

その分1日の便数を多く確保することや、1乗車100円で利用できることなど、利用者のメリットもあるためご理解をいただきたい。町も利用者の利便性を上げるため、

より効果的な仕組みができないか研究をしている。

◆その他のご意見

○自治会の統合も視野に入れるべき。

○ライドシェアの個人版はできないものか。

十和地域

◆集落維持

Q 空き家対策をもっと行ってほしい。

A 四万十町の空き家対策については、空き家活用や老朽住宅の除却事業等を行っている。四万十町全体の補助事業を掲載した支援制度一覧を区長文書で全戸配布している。令和6年4月1

日から開始した老朽建築物除却事業費補助金は町のホームページで公開している。

Q 町道の管理(集会所の周り)。JR

の時間帯を直してほしい。歩道の傾きを直してほしい。

A 大保木集会所周辺は、幅員が狭く危険なこともありガードレールの設置を継続的に行っている。今後実施予定。JRのダイヤは沿線全体の都合により設定されるため町の判断での見直しはできないが、町内移動は利用者懇談会等の意見を踏まえて可能な限りバスでカバーできるように検討していく。

国道の歩道の傾きについては、町立ち合いのもと県土木事務所に対応を依頼している。

Q 落石などがあるの町道を整えてほしい。

A 特に十和地域では落石が多く、優先順位をつけながら対策工事を実施している。

◆社会福祉

Q 今後、認知症も重なった一人暮らしが増えると考えられ、公的支援だけで支えることは不可能ではないか。現状の民生委員の取り組みなどと今後への考え方。

A 認知症の進行予防のためには体調管理や交流の機会も大切であり、通いの場の情報提供も行う。状況により、地域包括支援センター等が訪問し、必要な生活支援や介護サービス等につなげる。

今後は、現状と同様の支援に加え、さらに地域住民へ見守り等協力を呼びかける。



四万十町 模擬議会



あなたの疑問、
投げかけてみませんか



令和 7 年

10.26 日 9:00~

場所 | 四万十町議会議場

地域の皆さまの声を反映した議会運営を進めていくため、
議会活動への理解と関心を深めることを目的に「四万十町
模擬議会」を開催します。この機会に、町政の課題などに
対してあなたの意見や提案などを話してみませんか？

(1人30分以内で、模擬的に一般質問を行います)

募集要件

町内在住の20代～50代の方（性別不問）

応募用紙に応募動機等（200文字程度）必要事項を記入し、
議会事務局に持参・郵送もしくはメールで提出してください。

募集人数 | 10人以内

応募多数の場合は、審査のうえ決定します。

募集期間 | 8月11日～8月25日



応募用紙はこちらから
ダウンロードいただけます。



申し込み・お問い合わせ先

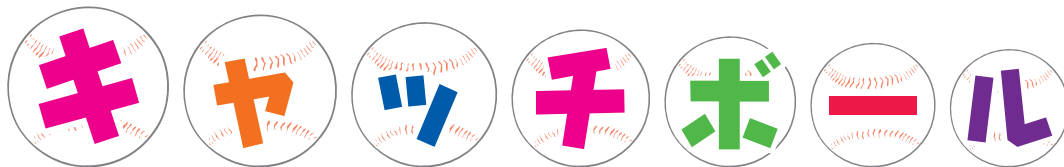
〒786-0013 四万十町琴平町16-17

四万十町議会事務局

電話：22-3126

メール：112000@town.shimanto.lg.jp

- ・一般質問の作成・当日のサポートを議員が共に行います
 - ・当日はCATV中継なし
(承諾の人はCATVニュース番組で取り上げられます)
 - ・託児スペースあり
- 主催 | 四万十町議会



このコーナーは町民の皆様からの議会に対する意見や、行政に提言をしてもらいたいこと、また旬の話題などを取り上げて、議会と町民の皆様とのキャッチボールを行うものです。

「四万十手仕事市」

Q 手仕事市はどんな経緯でいつから始まったか。

A 「作品を通じて人と人の心が触れ合う空間を創りたい」という想いに共感してくれた5人と一緒に2009年に古民家カフェ半平でスタートし、今では緑林公園で開催しています。

Q 私らがつくった物で参加することができるか。

A 今年の四万十手仕事市は、出展者数126店舗で地元の出店者やハンドメイド（手づくり雑貨）作品、スイーツやラクゼーションスペースなど「人の手から生まれる」さまざまなジ

ヤンルの出展がありました。来場者は約2500人でした。「手づくりの作品」等を中心に出展者を募集しています。

Q 四万十手仕事市はいつやりゆうが。

A 毎年5月5日に開催しています。

小さな子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで幅広い世代の方々に楽しんでもらいたい、会場でのコミュニケーションから「何気ない幸せの瞬間」が生まれたらうれしいと思います。出展を希望される方は、例年1月初旬頃に募集開始するのでInstagramをチェックしてください。



開催初期の半平の様子



四万十手仕事市 Instagram



今年の四万十手仕事市

ありやどぅなっちゅうぜ

海の保全事業

Q 最近、国・県からの事業で色々な水産事業をやりゆうが、どんな事業ぜ。

A 本町では水産多面的機能発揮事業・間伐材漁礁設置事業・投石漁礁設置工事を行っています。

水産多面的機能発揮事業

Q この事業はどこで、どんなことをやりゆうが。

A 興津・志和地区で、素潜りなどによるウニや建網での食害魚類の駆除と母藻の設置を行っています。

Q 海はようなりゆうがやろうか。

A 急激な変化はないものの、磯焼けした場所が色づく所も見られ、以前の藻場が少しづつ戻り、貝類などの生息範囲が広がっています。

R 6年度 ウニ駆除数	
志和	17,590
興津	13,340
計	30,930
R 6年度 魚類駆除数	
志和	508
興津	53
計	561

間伐材漁礁設置事業

Q 間伐材を使ってどんなことをやりゆうが。

A 間伐した杉枝などの未利用材を使用

した漁礁をつくり海に浮かべています。

Q この漁礁でどんな成果があるが。

A 漁礁は流れてくる稚エビ(イセエビ)を止めて、海底に落とし定着させる目的で設置しています。近年はイセエビの水揚げ量も安定しており、イカの卵の定着や小魚の漁礁に活かされています。



四万十町公式
Youtube
志和漁師の挑戦

投石漁礁設置工事

Q 地上からは見えませんが、どんな工事

をやったがやろ。

A 藻場を造成し海洋資源である魚類を増やすため、鉄鋼スラグ水和固化体製人工石材を設置しています。(R5～6年度志和。R7年度興津予定。)

Q 投石漁礁の効果はあったがやろうか。



石材の投入



藻の繁茂を期待

A 投石完了から期間も浅く、藻の繁茂状況は確認できていませんが、漁礁としての機能は発揮しています。本年度以降も同様に状況確認を行う予定です。

表紙の紹介

志和湾の海底を涼しげに泳ぐコロダイ(オサコ)の一家です。気持ちよく泳ぐ魚の表情が、暑さを和らげてくれます。海水温も上がり、海の環境も変化していますが、四万十町は魚も住みたい町でありたいと思います。



志和湾のシマアジの群れ

編集後記

今回は窪川高校でのトークフォークダンスや、地域での聞き取り調査など、住民の声を多く取り上げました。

今後とも委員会として、一人一人の思いを伝えられる活動に取り組んでまいりますので、ご協力お願いします。

(中野 正延 記)

【広報広聴委員会】

委員長 武田 秀義
副委員長 中野 正延
委員 山本 大輔
村井 眞菜
佐竹 将典
伴ノ内珠喜
中屋 康
下元 真之